

事務局便り



第4回



『生ごみリサイクル交流集会 in 多摩』

毎回、刺激と元気を持ち帰るので、各地で着々と生ごみ循環の輪が広がっています。今年は武蔵野市での開催です。

お近くの方はぜひご参加を！

詳細は同封したチラシをご覧ください。

今回の活動紹介は次の皆さんです。

- * 武蔵野市クリーンセンター所長 和知 稔さん
- 武蔵野市じゃがいもの会 今木 仁恵さん
- * 町田市 EM窪平代表 仲村達郎さん
- * 多摩市ごみ対策課主査 峯村 宣子さん、笹原 亮志さん
- * NPO法人 食品リサイクル農園あさか代表理事 野口 久美子さん
- * 高根商事(株) 代表取締役 田中 宗喜さん

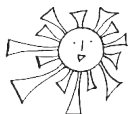
日時：6月16日(土) 13:00～16:30

会場：武蔵野市クリーンセンター見学者ホール(市役所となり)

資料代：500円

年会費= 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円
 賛助会員 10,000円(一口)

記事を転載する場合は
ご連絡ください



NPO法人

ごみ・環境ビジョン21

〒185-0012 東京都国分寺市本町 2-19-9-7

TEL&FAX 042-328-6621 月・水・金(除く祝日)13～17時

Eメール gomikan@mtf.biglobe.ne.jp

http://www2u.biglobe.ne.jp/~GOMIKAN/

郵便振替 口座名：ごみ・環境ビジョン21 口座番号：00120-1-541089

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)を必ずご記入ください
また、変更があった場合はお知らせください

今月、ごみかんはNPO法人化した2002年5月から、ちょうど丸10年になりました。(1998年の発足からは14年)そこで、これまでの活動を振り返り、歩みとしてまとめたものを同封しています。みかんの強みは、何といても市民のネットワークにあります。各地でがんばる会員の皆さんへの活動支援、情報提供とともに、つなげる役目を担えれば幸いです。

1999年ミレニアムのドイツ、当時はまだ学生だった通訳兼コーディネーターの田口理穂さんとの出会いから、もう13年になりますが、いまや理穂さんも生活者としての厚み加わって、しっかりとジャーナリストの道を歩んでいます。ごみかん会員の皆さんの中には、ドイツ視察のコーディネーターでお世話になった方も多いのでは？

来月の里帰り中の再会がとっても楽しみです。詳しくは12pの<<ごみかんNEWS>>で。どちらの会も定員がありますので、お申し込みはお早めに！

市民ごみ大学セミナーの 必読の講演録、完成しました！

どうすれば可能か？ ごみ半減！
～がんばる自治体の
取り組みを聞く～

ゼロ・ウェイストを掲げた葉山町と町田市の担当者の率直な語り、真正面からごみと向き合う真摯な姿は、感動ものでした。お話の内容がよくわかる同封のチラシをご覧ください。会場の臨場感を再現した、読みやすく、ためになる一冊です。

A4 / 39ページ

頒布価格 500円 (送料別途 80円)

*いの*の編集後記

今回のごみと・SUNでは、震災がれきの問題を取り上げ、3人の理事がそれぞれの切り口で記事を書きました。実は、がれきの広域処理をごみとに書くことについて、またその内容について、理事の中でも意見が分かれました。

放射能汚染さえなければ、私たちの意見や気持ち、これほどまでに揺れ、分かれる問題ではなかったはず。処理のし方が、焼却ありきで進んだために、ますます放射性物質の拡散や濃縮が問題になり、放射能の測定値やフィルターの性能などを「受け入れられる」「いや信じられない」と、さらに溝が深まりました。東電の子会社や市長の親族の産廃業者が処理に当たると聞けば、心穏やかではられません。

しかも、がれきがどのくらいあるのか、ほんとうに処理を急ぐがれきなのか、どこの自治体が手を挙げているのか…状況は刻一刻と変わっています。そんな中で印刷日ぎりぎりまで情報を集め、まずは最新の事実をしっかりとお伝えしようという7ページになりました。

会員拡大キャンペーンにご協力を！

活動仲間や新しく議員になられた方に、ごみかんへの入会をお勧めいただけませんか？
会員になっていただいた場合、ご紹介者にご希望の講演録を2冊プレゼントしています。